



TOMORROW | Taiza Studio

2854 Taiza Tangocho Kyotango Kyoto 6270201
tomorrowfield.org

PRESS RELEASE

2023年10月17日

AAWAA(COSMIC WONDER)が向き合う丹後の織物の世界 企画展「丹」開催

2023年10月7日[土]—11月26日[日]



AAWAA「丹」

丹

AAWAA

会場 | 丹後古代の里資料館

「ECHO あしたの畑—丹後・城崎」では、京丹後市教育委員会との共催企画として、丹後古代の里資料館にて現代美術作家AAWAAによる作品「丹」を公開します。

古代において辰砂は丹と呼ばれ、ECHOの会場である丹後町、古代の丹波国の丹は辰砂（朱砂）が採れたことに由来します。この地域では古墳や土器に朱が塗られ、日本茜で染める朱の織物が作られていました。同企画は、かつてこの地で生き、丹波国を築いた人の眠りの痕跡を見つめ、古代と現代をつなぐ試みです。丹後・三坂神社墳墓群から出土した朱の土—辰砂から触発された織物による空間を生み出しました。



AAWAA「丹」2023年

ABOUT

2千年前、京丹後に築かれた三坂神社墳墓群には、海の碧を想起させるガラス玉など大陸とのつながりを示す副葬品とともに、眠る人の未来を言祝ぐ赤い鉢物、丹後・但馬・丹波を中心とする葬送儀礼の痕跡である割れた土器が残っています。本展では、丹後古代の里資料館が収蔵する土器の破片と、当時の手法に基づいて制作された現代の土器をあわせて展示することで、古代の作り手、技法やその思いに近づくことが試みられました。

COSMIC WONDERの主宰として、26年間、衣を通して織物と向き合ってきたAAWAA。織物を育む土地とその歴史に向き合い、丹波・美山を活動拠点とするAAWAAは、同墳墓にまつわる記録から、文字には残されることのなかった現代に通ずる精神世界と原初的な表現技法や素材をひとつひとつ考察し、現代の手仕事と丹後の地の素材から成る空間を織り上げました。

作品名：丹

作家名：AAWAA

制作年：2023年

素材：丹後の赤土に埋めた絹布、丹後の赤土で成形した野焼き土器、写真



AAWAA



AAWAA「丹」展示風景

OVERVIEW

名称	ECHO あしたの畑－丹後・城崎
会期	2023年10月7日（土）－11月26日（日）
会場	間人スタジオ、竹野・斎宮神社、丹後古代の里資料館、道の駅てんきてんき丹後、 城崎温泉三木屋、世 SEI
主催	NPO 法人 TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
共催（丹後古代の里資料館）	京丹後市教育委員会
後援	海の京都 DMO、京丹後市、京丹後市教育委員会、京都府、公益社団法人京都府観光連盟
委託	令和5年度日本博2.0事業（委託型）

THEME

食とアートの祭典「ECHO あしたの畑－丹後・城崎」の2023年のテーマは3つ。
かつて丹（辰砂）を生み出してきた地域である丹後の歴史に着目したアート作品、
豊かな食材と丹後ちりめんを主とする産業を革新する試み、
そして、次世代と共同で取り組む土地に根ざす新たなアートの提案です。

CREATORS

AAWAA (COSMIC WONDER) アート・衣	新里 明士 陶磁器
安東 陽子 テキスタイル	西沢 立衛 建築
池澤 夏樹 文学	畠山 直哉 写真
嘉戸 浩 (かみ添) 唐紙	幅 允孝 (BACH) 本
桑田 卓郎 陶器	テレジータ・フェルナンデス アート
坂本 健 (cenci) 食	森川 昇 記録・写真
佐藤 聡 (PONTE) ガラス	LEO アート・箏
下田 理恵 記録・デザイン	サムソン・ヤン アート
須田 悦弘 彫刻	吉岡 哲生 (ブランカ) 食
田中 義久 アート・デザイン	吉岡 幸宣 (縄屋) 食
中川 周土 (中川木工芸) 木工	

※五十音順

PROGRAMS

Field of Stars

アーティスト、テレジータ・フェルナンデスと木工職人である中川周士が、次世代を担う建築チーム-TOMORROW の橋詰隼弥、若松晃平、そして芸術大学在学中のサイプレス・フェルナンデス=ダウズとのアート・工芸・建築をつなぐ協働プロジェクト。

A Little Prayer

芸術の根源について思考を重ね、行き着いた結論であった「祈り」。丹後には古墳が 5,000 基あるといわれる。これからの生活や墓地について思考し自然の中で芸術の意味を問い、「祈り」と結びつくことを願う、アート・工芸・建築からの視点を散策しながら体感する作品群。

紙の本

竹野神社に代々伝わる書籍と現代の図書を幅氏が選書、構成した期間限定の図書スペース。図書が置かれる本棚は、竹野神社に眠っていた古材を組み合わせ作られ、歴史のみならず、料理、宗教、建築、文化など様々な入り口から丹後について、丹後と世界とのつながりについて、学ぶことができる。

丹

AAWAA が丹後古代の里資料館の企画展示室内にて、かつてこの地で生き、丹波国を築いた人の眠りの痕跡を見つめ、古代と現代をつなげる試み。資料館の所蔵品と、丹後・三坂神社墳墓群から出土した朱の土一辰砂から触発された衣を制作、展示する。

古代とあしたの レストラン

国内外で活躍する料理人・坂本健と吉岡幸宣が、地域の食材を活用し、身体にも美味しく地元の新たなソウルフードとなるようなレシピを監修し、会期中に提供。

テキスタイルデザイナー・安東陽子は道の駅の南室を TOMORROW の次世代建築チームと共に開発する建材としての丹後織物を用い、食べる楽しさを増幅させる空間を提案する。

自然の部屋

職人の技を駆使しながら、自然素材で作るこれからの資源を考える試みを通して、次世代の感性に響く生活空間。新しく生み出すデザインやかたち、スタイルの模範となる場を提供し、やがて地域のスタンダードとして普及する地域モデルとなるべく、生活空間における光と水との新しい共存のあり方を提案する。

建築と場所の歴史と 対話する陶芸と彫刻

志賀直哉が宿泊した客室では現代美術家・須田悦弘が志賀の著書「朝顔」から着想を得た彫刻を、陶磁器作家・新里明士は、改修を終えた新しい客室のために制作した新作を発表。須田と新里による彫刻と陶芸の美の空間。



ECHO

あしたの畑 — 丹後・城崎

取材申込書

申込者	団体名		担当者名	
	住所			
	TEL		E-mail	
取材希望日	第一希望	月	日 ()	
	第二希望	月	日 ()	
媒体	種別	テレビ フリーペーパー	ラジオ WEB	新聞 雑誌 その他 ()
	媒体名			
発行/放映日	年	月	日 ()	時 分 ~ 時 分
取材内容	動画撮影	写真撮影	インタビュー	その他 ()
備考	(特殊な機材の持ち込み、お客様が映る可能性、無人の状態での撮影など)			

注意事項

- ・企画書など掲載媒体・取材内容がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・掲載、放映、放送等にあたっては、指定クレジットを明記してください。
- ・撮影写真、映像、広報写真等は、目的外の使用はお控えください。

お問い合わせ・お申し込み先

ECHO事務局 TOMORROW (担当：岡本)

E-mail: info@tomorrow-jp.org



WEB
<https://echo-tomorrowfield.com>

